

報道機関各位
プレスリリース

2010年12月29日

特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所
代表理事所長 竹垣英信

12年の品質保証。途中シカの食害や立ち枯れになっても再植樹します。

『企業様とのパートナーシップ企画：植樹銀行』

2011年1月1日から開始

－ 植樹したい企業様の希望を叶えます！ －

特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所（所在地：長野県伊那市 代表理事所長 竹垣英信）は、2011年が国際森林年であることを契機とし、『企業とのパートナーシップ企画：植樹銀行』を、2011年1月1日から始めることを発表します。植樹後は下草刈り・除伐・枝打ち等の保育メンテナンスを行ない、森の品質を12年間保証します。

今回 発表する『企業とのパートナーシップ企画：植樹銀行』は、次のとおりである。

■製品・サービス詳細

植樹銀行は、CSRやコーズマーケティング^(※1)活動等で木を植えたい企業様のプラットフォームです。例えば、『商品売上の一定割合を植樹銀行に積み立てる』カタチや『ポイントやギフトの簡易包装へ協力キャンペーンの還元先として植樹銀行に積み立てる』カタチが考えられます。積み立てられた寄付金（預金）は、植樹費用とその保育費用として支出されます。

(※1) コーズマーケティング

企業の社会問題や環境問題などへの積極的な取り組みを対外的にアピールすることで顧客の興味を喚起し、利益の獲得を目指すマーケティング手法。社会的貢献とビジネス目標の達成を同時に実現しようという考え方。

■特徴

人が植えた木は、人が手を掛けて育てていく必要があります。そこで植樹銀行では、植樹後の草刈り、除伐・枝打ち等の保育メンテナンスを行ない、森の品質を12年間保証します。植樹フィールドには、「預金者＝寄付者＝企業様」名を入れた看板を設置することも可能ですので、CSRレポート等でご活用することも可能です。

■サービス開始の予定時期

2011年1月1日（2011年は国際森林年）

■植樹フィールド

植樹銀行最初の植樹フィールドは、長野県長和町和田地区に位置する和田峠スキー場^(※2)跡地（7.42ha 植樹必要数：17,066本）を予定し、2011年6月から植樹活動をはじめます。

この植樹フィールドでの費用は1本あたり2,000円とし、総費用は3,413万円を見込んでいます。

(※2) 和田峠スキー場

元々は国有林。経済成長期に旧和田村が借り受けスキー場として開発し、バブル経済の崩壊・スキー人口の減少とともに閉鎖した、言わば現代社会の負の遺産である。閉鎖されたスキー場は、植樹を行ない一定期間の保育を経て、森林として再生後、国へ返す流れとなっている。

そんな背景があるなか、本来であれば長和町が独自の財源でスキー場を森林へと再生するべきであるが、現在の経済不況のさなか費用を捻出していくことは困難となっている。

そこで当団体は、長野県の『森の里親制度』^(※3)を活用し長和町と協力関係を敷き、NPOのもつネットワークを使いながら「スキー場を森へと戻す」活動をはじめることとなった。

(※3) 長野県『森の里親制度』

長野県内の手入れ不足の森林を企業等とのパートナーシップのもとで、整備していく制度で2003年より事業がはじめられている。

【特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所とは】

特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所は、『「正しさ」と「楽しさ」をつないで、新しい森づくりへー』を合言葉に、すべての人と森づくり活動を行なうことをミッションにする環境保全団体（2003年設立）で、これまでの活動はTBSテレビ「王様のブランチ」

や日本経済新聞、信濃毎日新聞、J-WAVE、環境雑誌「SOTOKOTO」等多くのメディアで紹介されています。

【本件の連絡先】

特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所（東京事務所）

担当者氏名：竹垣英信

TEL：03-5721-7121 FAX：03-5721-7122 携帯電話：080-3088-5412

e-mail：takegaki@slow.gr.jp URL：http://www.slow.gr.jp

住所：〒153-0051 東京都目黒区上目黒 4-18-25 グレイスビル 1F

以 上